



2024年9月26日

各 位

会 社 名 ジーエルサイエンス株式会社
代 表 者 名 取締役社長 長見 善博
(コード番号：7705 東証スタンダード)
問 合 せ 先 取締役管理本部長 芹澤 修
(TEL. 03-5323-6633)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、本日開催の取締役会において、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について、当社グループの現状を評価したうえで分析を行い、今後の対応方針を決議いたしましたので、お知らせいたします。

1. 現状分析と評価

当社グループは、経営の基本方針である当社創立時の「創立の根本精神及経営理念」に掲げる「社会に対し社会性を十分発揮してその存在価値を高め、社員個々の幸福を勝ち取り、企業の維持、発展をならしめること」を基本理念としており、その結果得られた利益を株主、社員、社会に公平に分配し、一部を社内留保して会社の事業内容を充実させ、発展させることが、最大の社会性を意味すると考えております。

また、当社は、2024年10月1日付でテクノクオーツ株式会社（以下、「テクノクオーツ」といいます。）と共同持株会社設立による経営統合を行う予定であり、今回の対応については、「道は一つ、共に進もう」というスローガンのもとに当社グループが一丸となって、企業価値を向上させることを強く意識して現状の分析を行い、評価したうえで対応方針を決定しております。

(1) 現状分析

項目/決算期 (連結)	第53期 2020年3月期	第54期 2021年3月期	第55期 2022年3月期	第56期 2023年3月期	第57期 2024年3月期
売上高(千円)	25,530,477	29,217,283	33,119,805	38,679,841	37,148,173
経常利益(千円)	2,821,112	3,915,876	4,998,479	6,468,701	6,108,932
当期純利益(千円)	1,633,485	2,257,216	2,795,295	3,499,060	3,430,655
ROE(%)	7.8	10.0	11.0	12.3	10.8
PBR(倍)	0.47	1.07	0.97	0.79	0.84
PER(倍)	6.2	11.3	9.3	6.8	8.2



①株価は第54期に大幅上昇しており、時価総額が200億円を突破した後は300億円前後で推移している。

②ROEについても、第54期以降は当社資本コスト基準値（社内目標値）の8.0%を超え、その後も10%超を維持している。

（ご参考）

・市場・業界別2024年3月期ROE数値 ※JPX統計情報 決算短信集計結果より引用

業種/市場	全市場	プライム	スタンダード	グロース
全産業	9.50%	9.61%	6.86%	3.99%
製造業	9.26%	9.39%	5.99%	△9.52%
精密機器	13.58%	13.96%	5.58%	△2.81%

③一方で、順調な利益率の上昇に対して時価総額は伸び悩んでおり、PBRの1.0割れが続いている。

(2) 評価

当社グループの連結業績は、安定的な成長の分析機器事業と、技術革新の進行による需要の高まりを取り込んできた半導体事業を両輪にして、着実な成長を遂げてまいりました。ROEにつきましても、売上高の増加や原価低減活動の成果による利益の増加に伴い10%以上の水準を確保している状況となります。

一方で、連結業績の伸びに対してのPBRの現状は、2021年3月期を除き1倍を下回る結果となっており、市場評価は低いと判断しております。

2. 当社の方針、目標及び具体的施策

当社は、前述の考察をもとに、以下の方針及び目標を設定いたしました。

(1) 方針

- ① 更なる売上高の拡大及び利益率向上に向けた事業戦略
- ② バランスシートの最適資本構成を実現する資本政策（株主還元等）
- ③ IR活動の強化（事業・財務戦略の周知、市場との対話等）

(2) 具体的施策

①更なる売上高の拡大及び利益率向上

分析機器事業においては、今後も消耗品の需要は堅調に推移すると見込んでいます。海外での自社装置の拡販を推進するほか、国内においても販売チャネルの強化を図り、売上高の拡大及び営業利益の向上を目指します。また、エネルギー関連領域などで活況なカスタムメイド品を中心にガスクロマトグラフ製品の生産機能を拡張するため、設備投資も積極的に行う計画です。

半導体事業においては、生成 AI 向け等のデジタル化の潮流に連動した売上高の拡大に加えて、高度な微細加工技術を生かした高付加価値製品を拡販することにより、利益面での成長も図ってまいります。また、中長期的な市場トレンドを見据え、将来の需要増に備えた設備投資も積極的に行っていく計画です。

自動認識事業においては、セキュアマイコン搭載モジュール等の差別化可能な製品を中心に拡販を行うことで、売上高及び営業利益をともに伸ばしていく計画です。

これらの施策を基に、以下の目標を設定いたしました。

- ・2027年3月期の**連結売上高目標：50,000百万円**（500億円）
- ・2027年3月期の**連結 ROE 目標：13.0%**

②バランスシートの最適資本構成を実現する資本政策

連結売上高及び連結 ROE の目標を掲げるにあたり、将来投資と株主の皆様への還元とのバランスを図ったうえで、以下の目標を設定いたしました。

- ・2025年3月期の**連結配当性向目標：30%**

③IR活動の強化

当社グループの市場評価を高めるためには、連結業績の過去実績に加えて、連結売上高及び連結 ROE の目標を含む当社グループの経営の更なる周知が必要と判断しているため、以下の目標を設定いたしました。

- ・**事業・財務戦略の周知、市場との対話及び経営へのフィードバック体制の強化**
- ・**個人投資家向け IR 説明会の実施**

3. 経営統合について

当社は、前述の通り、2024年10月1日付でテクノクオーツと共同持株会社設立による経営統合を行う予定です。

なお、今回公表した資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応につきましては、本日付で別途公表の中期経営計画とともに経営統合による効果を含む内容に沿って策定しておりますが、その定量数値の算定にあたっては将来の不確定要素を含みます。

各数値につきまして変更が生じた場合は、確定次第、速やかに公表させていただきます。

以上